



「自主、自立、自信」子供の「できた!」を見守る伴走者

いずかし

R8. 8月28日 17号
文責：園田

2学期開始

まっとうな自分をとり戻すことから

保護者の皆様、そして地域の皆様、まずはこの度の「2026年熊本地震」において被災されたすべての皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

今なお、ご自宅の片付けや避難所での生活、ライフラインの復旧など、大変なご苦労のなかにいらつしやるご家庭も多いことと存じます。そのような厳しい状況下でお子様を支え、こうして2学期のスタートを迎えてくださったことに、深く感謝申し上げます。校舎の一部にも被害が出ましたが、市教育委員会をはじめ関係の皆様が全力で復旧に尽力され、安全を確認し、無事に子どもたちを迎え入れる準備をして頂きました。この紙面を借りて感謝申し上げます。

2学期が開始にあたり、私たちが何よりも大切にしたいのは「子どもたちの安全と、心の安心」です。お家の状況が変わったり、余震への不安があったり、子どもたちの心には目に見えないストレスや疲れが溜まっているはずです。学校では、決して無理をさせず、一人ひとりの

の表情や様子をこれまで以上に丁寧にサポートしてまいります。

心の安定とストレス解消

まず、「健康アンケート」を行い、子どもたちの心の状態を把握します。ストレス反応が激しいときは専門家へつないだり、スクールカウンセラー等の相談を勧めます。また、毎日の心の変化を把握するために、タブレット端末のアプリを使って心の健康状態を把握します。

直近3日間で不調が2回以上の子どもは声かけ優先対象者として把握できますので、個別に対応していきます。細かな行動や表情にも気をつけて見守っていきます。



子どもたちのスキミング

地震が発生して以来、外で思いきり遊ぶことができず、ずっと家の中で過ごしている子どもたちがたくさんいます。「お友達に会いたいな」「外で走りたいな」と、一生懸命ストレスを我慢している様子も見られると思います。子どもたちにとって、お友達と笑い合い、自由に過ごす時間は、心に安心感を取り戻すためにとても大切な「日常」です。そこで、子ども同士が顔を合わせておしゃべりをしたり、少しでも心を解放してのびのび過ごしたりできる「朝の活動」を始めることにいたしました。

まずは短い時間から、無理のない範囲で、子どもたちの「ほっとできる時間と場所」を作りたいと考えています。

＜活動の目的＞

◎友達とのコミュニケーション顔を合わせて「おはよう」を言い合うことで、つながりを感じます。

◎心の解放とリラックス短時間でも体をのびのび動かすことで、たまったストレスを少しでも発散し、笑顔になれる時間を作ります。

◎生活リズムを整える朝の決まった活動を通して、普段の生活ルーティンを取り戻すきっかけにします。

防災教育の充実

現在も余震が続いている状況を考えて、今後も大きな地震が発生する可能性も考えられます。今回はたまたま夏休み中に発生した地震でしたが、授業中などの学習活動中や登下校中に防災することも考えなくてはな

りません。

そこで、地震や水害等の災害が発生したとき、「まずは自分の命は自分で守るという行動ができるようになる力を身に付ける」ためにも一人一人の防災意識を高めることが大切と考え、4年生以上を対象に9日（水）に、くまもと防災士会防災士と県森林保全課の職員をお招きして防災教育をお願いしています。

◆保護者アンケートから

防災後、混乱の中で安否確認や生活の状況アンケート等にご協力いただきありがとうございました。今後もお子様の事で気になることがございましたら、遠慮なく担任や学校までお知らせください。まずは、子どもたちが学校で友だちや先生と話し、笑い合える時間を最優先にしていきたいと思っています。今後、子どもたちの心の安定を図りながら、学校の日常を一日も早く取り戻すために、以下の内容について取り組みを進めて参ります。

つきましては、お寄せいただいたご質問についての対応を簡単にお知らせします。

□耐震について

本校は平成十七年に耐震補強工事が入り、建物に鉄骨と内部に筋交いが入られています。

□防犯対策

管理は異なりますが、体育館周辺に防犯カメラを設置しています。

□登下校について

下校時刻を低学年と高学年に分けて揃え、町内ごとにまとまって帰る体制をつくりまします。

□飲料水

管理棟の水質検査が終わり使用可となりましたが、その他の箇所は修繕中です。水筒に持たせてください。

□避難所について

8月31日閉鎖しました。

□防災教育

上記の通りです。正しい防災知識を習得し、自ら判断し行動できる力を育てます。

□今後の地震の対応

学校HPに、自然災害が発生時対応を掲載しています。

※地震関係の要点

・震度5弱以上：情報収集後、安全が確保できたら児童引き渡し下校（渋滞回避の観点から、徒歩によるお迎えを推奨）

・震度4以下：原則として下校。

保護者がお迎えの場合は要連絡。

・大津波警報、津波警報発令：保護者への引き渡しはせず、警報が解除されるまで学校で退避

・津波警報：津波の到達時刻を考慮して引き渡しの時刻を決定。

以上のように、災害の程度によつて対応が異なります。学校からの連絡メールを注視してください。

●保護者へ重要なお知らせ

今回の地震発生後、児童の安全確認に時間を要しました。混乱の中で大変恐縮ですが、可能な限り速やかにご連絡ください。